

令和4(2022)年度 ウィークエンド青少年セミナー⑤実施報告

実施日：令和4年12月17日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年が、同世代の仲間との話し合いやイベント企画をとおして、青少年自らがボランティア活動に主体的に参加・参画する意識・意欲を高められるよう、演習を中心とした主体的な学びを中心に、9～12月に全5回の内容で実施します。

第5回は、総合教育センターで開催された公開講座「学びの杜の冬休み」の中で、準備してきた講座の運営を行いました。その後、企画から準備、運営までの演習全体のふりかえりを行いました。

演習「学びの杜の冬休みで参加者と一緒に楽しもう」

総合教育センター職員

今まで準備を重ねてきた「水と油の実験遊び」、「つくろう!あそぼう!楽しい石けん!!」、「冬がやってきた!みんなでクリスマスの準備をしよう!」、「ものづくりに楽しく挑戦しよう」の4つの講座の運営を行いました。明るい挨拶を心がけたり、参加者に優しく声をかけたりと参加者が講座に気持ちよく参加できるように考えて活動することができました。

参加者からも「運営をしている学生に分かりやすく教えてもらえてよかった。」「お家でもできそうな、簡単なおもしろい科学実験のしくみなど、なぜこうなるかは知らなかったの、勉強になった。」などの感想が寄せられ、楽しさの中に学びがある講座となりました。



演習「学びの杜の冬休みに参加して」

総合教育センター職員

学びの杜の冬休みで講座の準備・運営をとおして感じたこと、これからどんなボランティア活動をしていきたいかについて班で話し合い、発表を行いました。受講者からは「来年は今年の講座をパワーアップさせたものを行ってみたい。」「地域で高齢者と子どもが参加する企画をしてみたい。」など、地域の中でのつながりの大切さ、世代間のつながりの大切さを意識した感想が寄せられました。今後、本セミナーで学んだことを地域でのボランティア活動に生かしていただきたいと思います。

* 受講者の感想より *

- これまで計画してきた講座を実際にやってみることで、難しい部分もあったが、最後に「ありがとう」「楽しかった」と言ってもらえたことがうれしかった。
- 今回自分が実際の活動に取り組んでみて、参加者の交流における「やりがい」がボランティアの最大の意義なのではないかと感じた。
- これまで考えてきたことをやり遂げることができ、達成感があるとともに、課題もあったため、まだまだ考えなければならないことがあるということを学ぶことができた。
- 地域の高齢者を対象にスマホ教室を開こうと思っているので、高齢者の目線で企画を考えたい。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp